第5学年1組 国語学習指導案

平成14年11月21日
指導者 新井宏美・原野豊明
場所 教室・図工室

1. 単元名 本の世界を深めよう ～宮沢賢治の作品をもっと読もう～

2. 学習材 「雪わたり」

3. 児童の思いや願いと本単元の意図
   （1）児童の思いや願い

   本年度から、毎週2回朝に読書の時間・1回読み聞かせの時間を設けることで、児童の読書習慣が確実に身についてきている。また、10月より、学校図書館が開館し、さらに児童は読書意欲を高め、たくさんの本を手に取るようになってきている。

   しかし、児童の多くは、本を読み終えてから「読んだ。よかった。おもしろかった。」と簡単な感想を述べただけである。一方、「なぜ、友達に読める。」「感想を友達と話し合ってみたい。」などと、本を通して人とのかかわりを求め、自分を高めたいと考えている児童も少ないながらある。

   そこで、今回の「本の世界を深める ～宮沢賢治の作品をもっと読もう～」では、後者の児童の思いに沿い、児童の読書生活に取り組む態度をよりよいものにしていきたい。そのために、共通の学習料をもとに、友達との感想交流をしたり、店の内容や登場人物などのおもしろさについて話し合ったりすることで自分の考えを広めたり深めたりして、十分に本の楽しさを味わわせたい。そして、同時に「宮沢賢治の作品を続けて読んでみよう。」と児童に呼びかけ、自分の読んだ本を友達に紹介する「読書発表会」を行う。「読書発表会」では、本のおもしろさを視点として、自分の思いを伝えられる活動、また友達の思いを聞く活動とする。これらの学習を通して、さらに児童それぞれが読書の範囲を広げ、豊かなる読書習慣を身につけるようにしていきたい。

事前のアンケートでは、（クラス32名 国語：9月上旬実施、宮沢賢治：10月中旬実施）
アンケートによると、児童は図書の学習で感想を書いたり発表したりするのには、それほど好きではないが、発表をしたり音読をしたりするのは好きである。これは、児童は自分の思いや感想をもつが、何となく思う、そのことをどのように表現したらよいのかとためらっているからだと思われる。一方、音読は感じたことを簡単に音声表現ができ、友達の意見や考えを聞くのは楽しいと感じているからだと思われる。そこで、本単元では、学習材料の作品の内容を視点を当て、自分の気に入りの文章や言葉を書き出し、それを手がかりに自分があくらのように感じ、想像したかを中心に、友達と感想を交流させたい。そして、読み取ったことを音読活動として、4年生に読み聞かせしていきたい。

宮沢賢治については、知っている児童は多く、「注文の多い料理店」「さくらの星」など、代表的な作品については読んでいるが、他の作品についてはほとんど読んでいない。また、宮沢賢治を全く知らない児童もいる。そこで、「雪笑い」を読み進めることを提案して宮沢賢治の作品に親しみをさせていく。発表会では、宮沢賢治の作品から、気に入った作品と「雪笑い」を読み比べ、叙述の特徴や話の展開、共通する宮沢賢治の願いや思いに寄せて、考えを広げたり深めたりさせたい。

(2) 本単元の意図

学習指導要領に示されている「読むこと」の目標は次のようになっている。

目的に応じ、内容や要旨を把握しながら読むことができるようにするとともに、
読書を通して考えを広げたり深めたりしようとする態度を育てる。

本単元では、『木の世界を深めよう』というテーマで、物語「雪笑い」の楽しさやおもしろさを中心に内容を読み深める。同時進行で『宮沢賢治の作品をもっと読もう』と呼びかけ、一人の作者の作品を通して自分の考えを広げたり深めたりして、今後の読書生活に結びつけることを意図した単元である。

まず、学習材「雪笑い」では、作品のおもしろさを視点①から読み深め、登場人物の心情や場面についての描写など、優れた叙述を味わいかが読ませたい。そして、読み取ったことを音読に表現してまとめる。次に、学習を進めるのと同時にその他の宮沢賢治作品を読み続け、視点②から「雪笑い」と比べながら、読書発表会を行う。聞き相手を意識して自分の思いを伝え合う活動を通して、これらの読書活動の幅を広げさせていくたい。
◇「雪だるま」のおもしろさ — 視点① — 個人の決める課題をもとに、学習材を読み深める。

- 言葉のおもしろさ（擬態語、擬音語、比喩、リズム）
- 言葉の美しさ（情景描写）
- 人間の子どもたちの子どもの交流（不思議さ）
- 人間の生きるときの生きるときの失態（ユーモア）

◇読書発表会 — 視点② — 個人の読んだ作品を次のような視点で読み、「雪だるま」と比べて
読書発表会を行う。

- あらすじのおもしろさ（話の内容）
- 主人公の様子や気持ちの変化（登場人物）
- 動物と人間の心の通じ合い（作者の思い）
- たとえ騒音、美しい表現（叙述、言語の特徴）

4. 研究主題の「目指す児童像」とのかわり

研究主題 『読書を通して表現する力を高める指導』に迫るために、高学年ブロックでは、
『目指す児童像』を以下のように考え、その実現のために、具体的な手立てを考えた。

○読書を通して発見や感動を大切にする子 (読書)
- 宮沢賢治コーナー、ブックトーク（図書館司書）、読み聞かせ（よい本の会）を行い、読書へ
の関心・意欲の継続化を図る。
- 読書案内、読書発表会を行い、読書生活の交流を図る。
- T Tの指導により、読みを深めるために個々への対応を図る。

○課題解決に向けて、進んで情報収集し、効果的に活用する子（調べ学習）
- カセットテープを活用した言語練習をし、読書発表会に生かす。
- 作品紹介手引き資料を使っての図書館利用を図り、必要な情報を収集する。
- ワークシートを利用し、感想や気づきを整理する。

○友達の考えを大切にしながら、自分の思いをみんなに分かるように表現できる子（表現力）
- 読み深めるため、作品のを味わうための対話・話し合い活動を取り入れていく。
- 4年生に読み聞かせることを目指して、音読練習を取り入れたグループ学習を織る。
- 読書発表会の内容、進め方の手引きを活用し、一番伝えたいことの発表の工夫をしていく。

5. 単元目標

(1) 本に親しみ、読書を通して考えを広げたり、深めたりすることができる。
　（関心・意欲・態度）

(2) 必要な情報を集め、目的をもって読むことができる。（読むこと）

(3) 話の組立てが工夫して、聞き手にわかりやすく発表することができる。（話すこと）

(4) 話し手の意図を考えながら、話の内容を聞くことができる。（聞くこと）

(5) 場に応じた適切な言葉遣いができる。（言語事項）
<table>
<thead>
<tr>
<th>時</th>
<th>学習活動</th>
<th>学習内容</th>
<th>○評価の観点</th>
<th>評価方法</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>1</td>
<td>学習全体の見通しをもう「今後の世界を深めよう」〜宮沢賢治の作品をもっと読もう〜</td>
<td>学習の進め方</td>
<td>(関心・意欲・態度)</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>〜雪わたりを読み深めよう。〜</td>
<td>学習の進め方</td>
<td>(関心・意欲・態度)</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>学習の進め方</td>
<td>関心・意欲・態度</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>読書発表会を知る。</td>
<td>全文を読む。</td>
<td>(関心・意欲・態度)</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>雪わたりを味わう。</td>
<td>関心・意欲・態度</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>初読の感想を書く。</td>
<td>評価方法</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>♦雪わたりを読み深めよう。</td>
<td>学習の進め方</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>学習の進め方</td>
<td>学習の進め方</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>学習の進め方</td>
<td>学習の進め方</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>2</td>
<td>課題をもつ</td>
<td>課題を知る</td>
<td>(話し方/関心・意欲・態度)</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>初読の感想交流</td>
<td>自分と友達の感想の比較</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>✍ブックトーク「宮沢賢治作品」</td>
<td>論文の先生に宮沢作品紹介をしてもらう。</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>試し読みを深める</td>
<td>(読むこと/書くこと/話すこと/聞くこと)</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>3</td>
<td>課題をもとに、場面ごとに、情景描写やあらすじなどの感想を書く。</td>
<td>試し読みを深める</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>その一(子ぎつねの綿三郎)</td>
<td>試し読みを深める</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>✍</td>
<td>試し読みを深める</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>4</td>
<td>課題学習（個人）</td>
<td>試し読みを深める</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>4時間目の学習の流れ</td>
<td>試し読みを深める</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>課題学習（個人）</td>
<td>試し読みを深める</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>成績交流（グループ）</td>
<td>試し読みを深める</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>5</td>
<td>課題を深める</td>
<td>試し読みを深める</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>6</td>
<td>課題を深める</td>
<td>試し読みを深める</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>7</td>
<td>課題を深める</td>
<td>試し読みを深める</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>その二(きつねの小学校のけんこう会)</td>
<td>試し読みを深める</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>9</td>
<td>課題を深める</td>
<td>試し読みを深める</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>10</td>
<td>課題発表会</td>
<td>試し読みを深める</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>11</td>
<td>課題発表会</td>
<td>試し読みを深める</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>学習日記</td>
<td>試し読みを深める</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>学習報告（全体）</td>
<td>試し読みを深める</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
</tbody>
</table>

宮沢賢治作品の読書発表会をしよう。
7. 本時の学習指導（第9/11時）

（1）目標

①紹介する本のおもしろさが伝わるように、聞き手が読みたくなるように発表することができる。（話しすること）

②話し手の意図を考えながら、話の内容を聞き、内容にかかわる感想を述べることができる。（聞くこと）

③場に応じた適切な言葉遣いで話すことができる。（言語事項）

（2）展開

前時の学習内容 | サンプルに紹介した本を選び、「雪あたり」と比べながら紹介する事柄をまとめる。

<table>
<thead>
<tr>
<th>学習活動</th>
<th>学習内容</th>
<th>○指導・支援 ※評価 →手立て</th>
<th>時間</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>1. 本時の学習の進め方や目標を理解する。</td>
<td>・学習内容の確認</td>
<td>○本時の学習の進め方を説明し、目標を立てさせること。 ○読書発表会に向けて、「雪あたり」と比べながら本を紹介するための模擬発表であることを理解させる。</td>
<td>5</td>
</tr>
<tr>
<td>2. グループでの模擬発表をする。</td>
<td>・聞き手を意識して発表する。 ・話し手の意図を理解しながら聞く。 ・発表の後、簡単な対話や感想交流をする。</td>
<td>→グループの発表についてあらかじめ次のことを指示しておく。 ①視点をとって、雪あたりと比べながら発表する。 ②自分の一番伝えたいことを工夫して発表する。 ③自分に気持ちを伝えたいことを工夫して発表させる。</td>
<td>20</td>
</tr>
<tr>
<td>3. 学習報告会</td>
<td>児童による司会、進行で行う。</td>
<td>○グループ代表による学習報告を簡潔に発表させる。また、次の発表会で生かせるための感想や気づき、意見等を発表させる。 →組み合わせをしておく。必要に応じて支援する。</td>
<td>15</td>
</tr>
<tr>
<td>4. 模擬発表を振り返り、考えたことや気づいたことをまとめること。</td>
<td>学習日記を書く。</td>
<td>→友達の感想や意見から、自分の発表に役立つものを見つけるか。</td>
<td>5</td>
</tr>
</tbody>
</table>

次時の学習内容 | 模擬発表を生かした読書発表会をする。

7. 備考  在籍児童数  男子 16名 女子 16名 計32名
<table>
<thead>
<tr>
<th>時間帯</th>
<th>内容</th>
</tr>
</thead>
</table>
| 1時 | 1. 学習の見通しや進め方が理解できた。 2. 雪遊びを全て考え、大切に話した。
| 2時 | 1. 初期の感想で、進んで自分の感想を伝え、友達の感想を聞くことができた。 2. 自己の読みの課題を見つけることができた。 3. ブックトーク後、宮沢賢治の作品に興味がもてたか。 4. 友達の上さや良い所を見つけることができた。
| 3・4時 | 1. 課題ごとの手引きに沿って読む進めることができたか。 2. 手がかりになる文や言葉を見つけ、書き出すことができたか。 3. 「その1」の場面で感想が広がったか。または、感想が深まったか。 4. 考えたり、想像したりを感想交流して、さらに深めることができるか。 5. 宮沢作品を1〜2冊は読んでいるか。
| 5・6時 | 1. 読み取ったことを、自分なりの工夫をして音読できたか。 2. グループで役割を決め、協力して音読できたか。 3. 友達のよさや良い所を見つけることができたか。 4. 宮沢作品を3冊以上は読んでいるか。
| 7時 | 1. 読書発表会のやり方や進め方が理解できたか。 2. 「雪遊び」と比べながら、「雪遊びの話」と比較できたり、発表前もできたか。 3. 発表の仕方で相手に思いを知らせる自分の工夫ができたか。
| 8時 | 1. 本のあそびが伝わるように、聞き手が読みたくなるように発表することができたか。 2. 演の内容を聞き、感想を述べることができたか。 3. 場に応じた適切な言葉遣いで話すことができたか。 4. 友達の感想から、自分の発表に役立つものは見つけられたか。
| 9時 | 1. 本のあそびが伝わるように、聞き手が読みたくなるように発表することができたか。 2. 話の内容を聞き、感想を述べることができたか。 3. 場に応じた適切な言葉遣いで話すことができたか。 4. 友達の感想から、自分の発表に役立つものは見つけられたか。
| 10・11時 | 1. 本のあそびが伝わるように、聞き手が読みたくなるように発表することができたか。 2. 話の内容を聞き、感想を述べることができたか。 3. 場に応じた適切な言葉遣いで話すことができたか。 4. 友達の感想から、自分の発表に役立つものは見つけられたか。

【教師の評価】

○ノートやワークシートの考察 ☆「話す、聞く、書く、読む」の項目ごとに評価する。
○授業中の発言や行動の観察 ☆座席表に毎時間記録をとる。
○児童の自己評価、相互評価を考察 ☆（C）の自己評価には、よい点を補足する。
<table>
<thead>
<tr>
<th>項目</th>
<th>内容、あらすじ</th>
<th>話の魅力</th>
<th>登場人物</th>
<th>表現</th>
<th>作者の思い</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>「かしわばやしの夜」</td>
<td>柏林での歌合戦、絵描き、名所の清作</td>
<td>🔼</td>
<td>🔼</td>
<td>🔼</td>
<td>⬤</td>
</tr>
<tr>
<td>『ベルッセ』</td>
<td>町の乳母とその工場、くろい毛</td>
<td>🔼</td>
<td>🔼</td>
<td>🔼</td>
<td>🔼</td>
</tr>
<tr>
<td>明るい、楽しい</td>
<td>雪だるまとの共通点の歌</td>
<td>🔼</td>
<td>🔼</td>
<td>🔼</td>
<td>🔼</td>
</tr>
<tr>
<td>「カイロに長く」</td>
<td>アマガエルが舞うカエルに、ウイスキーを飲まれる</td>
<td>🔼</td>
<td>🔼</td>
<td>🔼</td>
<td>🔼</td>
</tr>
<tr>
<td>優成社</td>
<td>雪だるまの世界</td>
<td>🔼</td>
<td>🔼</td>
<td>🔼</td>
<td>🔼</td>
</tr>
<tr>
<td>続→深さあり</td>
<td>親列多い世界</td>
<td>🔼</td>
<td>🔼</td>
<td>🔼</td>
<td>🔼</td>
</tr>
<tr>
<td>劇さあり</td>
<td>雪だるまとの共通点</td>
<td>🔼</td>
<td>🔼</td>
<td>🔼</td>
<td>🔼</td>
</tr>
</tbody>
</table>

| 十力の金剛石 | 王子様と大臣の子が森の中で宝をがし。石（十力の金剛石）が植物や自然全てを美しくする世界 | 🔼 | 🔼 | 🔼 | 🔼 |
| ベネッセ | 石物名がたくさん出る、幻想的で難しい | 🔼 | 🔼 | 🔼 | 🔼 |
| | 言わすと共との共通点 | 🔼 | 🔼 | 🔼 | 🔼 |
| 「よだかの星」 | 悪しめの極め→よだか、自己犠牲 | 🔼 | 🔼 | 🔼 | 🔼 |
| 優成社 | 作品の裏側に賢治の思い…まことの幸福 | 🔼 | 🔼 | 🔼 | 🔼 |
| 捧し絵…組み込む | 森の中の美しい雪の景色 | 🔼 | 🔼 | 🔼 | 🔼 |
| 「水仙月の4日」 | 雪女が命を雪童子と雪狼がすさまじい雪をふらす。雪童子が子どもを助ける。雪だるまとの共通点 | 🔼 | 🔼 | 🔼 | 🔼 |
| ミキハウス | 雪だるまの世界…オランダ | 🔼 | 🔼 | 🔼 | 🔼 |
| 優成社 | 絵本も美しい | 🔼 | 🔼 | 🔼 | 🔼 |
| 続…どちらの絵 | 絵の表現が優秀 | 🔼 | 🔼 | 🔼 | 🔼 |

| 「銀河鉄道の夜」 | シャバンニ、カンパネラ、ファインダーの世界 | 🔼 | 🔼 | 🔼 | 🔼 |
| 『藤城清治の影絵』 | 資治の目指す世界…自己犠牲、人のために尽くす | 🔼 | 🔼 | 🔼 | 🔼 |
| 感動 | 「世界すべての人が幸福に～」 | 🔼 | 🔼 | 🔼 | 🔼 |

<p>| 「オッペルと象」 | 牛飼いの言葉…オッペルは、白象をだまして働きかける。森の仲間の象達に助けに来る。 | 🔼 | 🔼 | 🔼 | 🔼 |
| ベネッセ | 話は単純であるが、背景に宗教の象徴 | 🔼 | 🔼 | 🔼 | 🔼 |
| 続…不思議の国 | 牛飼い…ヒンズー教、白象…仏教 | 🔼 | 🔼 | 🔼 | 🔼 |
| 多国籍 | サンタマリアーキリスト教、月→イスラム教 | 🔼 | 🔼 | 🔼 | 🔼 |
| 続…想い出 | 絵の表現が優秀 | 🔼 | 🔼 | 🔼 | 🔼 |</p>
<table>
<thead>
<tr>
<th>書名</th>
<th>著者</th>
<th>内容</th>
<th>順位</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>「双子の星」</td>
<td>感動</td>
<td>双子星...チュンセ星子、ボウセ星子は星のぐるりの銀の鈴を鳴らしている。2つの寓話。&lt;br&gt;①大からすとサソリのけんか→二人を助ける&lt;br&gt;②クジラに騙され天から海へ&lt;br&gt;海蛇に助けられる。</td>
<td>◯</td>
</tr>
<tr>
<td>「鹿踊（ししおどり）のはじまり」</td>
<td>優成社</td>
<td>喜十（かじゅう）が湯治に行く途中落ちとした手拭いを拾いあげると、6匹の鹿が手拭いを何だろうと、1匹ずつ見に行く。→千からびたなめくじと思う&lt;br&gt;雪かたどりと共通...筍のような鹿の鳴き声&lt;br&gt;花巻周辺の郷土芸能「鹿踊り」から創作&lt;br&gt;【 語りテープ有り 】</td>
<td>◯</td>
</tr>
<tr>
<td>「なめとこ山の熊」</td>
<td>優成社</td>
<td>狐師瀬沢小十郎となめとこ山の熊：交流もあり&lt;br&gt;児童図→生と死。人間の報答の東賜&lt;br&gt;擬態語あり&lt;br&gt;【 語りテープ有り 】</td>
<td>△</td>
</tr>
<tr>
<td>「シグナルとシグナレス」</td>
<td>江原貞</td>
<td>シグナル（本題：最新の信号…男）とシグナレス&lt;br&gt;軽便鉄道：木の古い信号…女の二人の悲しい恋&lt;br&gt;「つまらないところが薔薇のです」と賢治親&lt;br&gt;歌有り、歌詞、音楽など専門語あり</td>
<td>△</td>
</tr>
<tr>
<td>「若い木霊（こだま）》パンナセ」</td>
<td>枚上木村</td>
<td>若い木の霊が、春の訪れにそわそわ、どきどきする&lt;br&gt;そのさがし。「殻（とき）の火」を求めて。&lt;br&gt;春の森、びき蛙、カタクリの花、宿り木&lt;br&gt;不思議な暗い森 共通…報の木</td>
<td>△</td>
</tr>
<tr>
<td>「猫の事務所」</td>
<td>優成社&lt;br&gt;絵：バステル&lt;br&gt;いやらかしい</td>
<td>事務長は黒猫、1白猫、2虎猫、3三毛猫、4黒猫&lt;br&gt;もくもくと働く黒猫をみんながそねみ、いじめる話。「ぼく」の語り&lt;br&gt;※3組で人気→黒猫の誠実さ&lt;br&gt;【 語りテープ有り 】</td>
<td>◯</td>
</tr>
<tr>
<td>「風の又三郎」</td>
<td>パロル舎</td>
<td>山の学校にやって来た転校生高田三郎と山の子ども達との交流。長男の物語&lt;br&gt;方言多し、風が吹く音、山の情景が印象的</td>
<td>◯</td>
</tr>
<tr>
<td>「セロ弾きのゴーシュ」</td>
<td>水野</td>
<td>動物とのかかわりの中で、セロが上達する。&lt;br&gt;ゴーシュのセロ：動物にとっての微し&lt;br&gt;出出てくる動物→猫、カッコウ、ためき、野ねずみ</td>
<td>◯</td>
</tr>
<tr>
<td>「やまなし」</td>
<td>2まいの青い幻想&lt;br&gt;山の小さな谷川の「花月」と「12月」の様子</td>
<td>山の小さな谷川の「花月」と「12月」の様子</td>
<td>◯</td>
</tr>
<tr>
<td>「どんぐりと山猫」</td>
<td>どんぐりの争いをこ山猫が裁判する。山猫に招かれたかねた…部がその裁判にアドバイスをする。「一番ばかりで、めちゃくちゃで、まるであっていないのが一番えらい。」→賢治の理想とする人間&lt;br&gt;美しい表現有り。</td>
<td>◯</td>
<td>◯</td>
</tr>
<tr>
<td>「注文の多い料理店」</td>
<td>かりをしにきた二人の男が、逆に山ねこに食べられそうになる話。擬態語、擬音語有り。</td>
<td>かりをしにきた二人の男が、逆に山ねこに食べられそうになる話。擬態語、擬音語有り。</td>
<td>◯</td>
</tr>
</tbody>
</table>
| 書籍名                          | 簡易解説                                                                 | 口
<table>
<thead>
<tr>
<th></th>
<th></th>
<th></th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>毒もみの好きな署長さん</td>
<td>ブラハという国で毒もみ漬を禁止しているが、毒もみで密漬する署長の話。</td>
<td>△</td>
</tr>
<tr>
<td>清林堂</td>
<td>電子箇所語の大変役にあっている署長。</td>
<td>△</td>
</tr>
<tr>
<td>現代的</td>
<td>公害に詳しい署長。</td>
<td>△</td>
</tr>
<tr>
<td>へんじ先生</td>
<td>テーマが雨ニモマケズと似ている。</td>
<td>○</td>
</tr>
<tr>
<td>PHP 畑山 博</td>
<td>賢治の目指す人間像。</td>
<td>△</td>
</tr>
<tr>
<td>「狼森と盗森、盗森」（オイノもらい、さらもり、ぬすとり、）</td>
<td>宮沢賢治の授業を再現した絵本。</td>
<td>△</td>
</tr>
<tr>
<td>畜成社</td>
<td>その授業は「ほんとうの幸福」について、みんなで考えるもの。</td>
<td>○</td>
</tr>
<tr>
<td>「おきなうさ、いもうの実」</td>
<td>賢治の生き方、めざすもの。</td>
<td>○</td>
</tr>
<tr>
<td>畜成社</td>
<td>岩手山のふもと。4つの森と農民たちのあたたかい交流。ユーモアあり。不思議なこともあり。</td>
<td>○</td>
</tr>
<tr>
<td>畜成社</td>
<td>登場人物: 4つの森（黒坂詩の語り）、狼、山男、盗人、歌あり、比喻あり。</td>
<td>○</td>
</tr>
<tr>
<td>「土神（つちかみ）と狐」</td>
<td>おきなうさ：うずのしゃけ、いろいろの実2つの話、どちらも、種としてとびたつ（死）まで。</td>
<td>△</td>
</tr>
<tr>
<td>畜成社</td>
<td>賢治のとらえる「生と死」、擬態語、擬音語あり。テーマが難しい。</td>
<td>△</td>
</tr>
<tr>
<td>組み木の絵迫力あり</td>
<td>槊の木（女性）に思いを寄せる土神。槊の木は狐の方が上品で好き。土神は狐にねたみやうらみをもち、最後に殺してしまう惨劇。難しい。</td>
<td>△</td>
</tr>
<tr>
<td>しましんせいせいたん</td>
<td>賢治：人間のもつ修羅を描いた異色作品。美しい表現もあり。</td>
<td>○</td>
</tr>
</tbody>
</table>